

南関東防衛

平成29年
冬号

平成29年冬号 年4回発行 第14号

■ ■ ■ 特 集

- 南関東防衛局長からの新年の挨拶
- FMブルー湘南「遊びに来ませんかスタジオへ」



北富士駐屯地梨が原廠者地区からの富士山

堀地 徹 南関東防衛局長からの新年の挨拶



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境はより厳しさを増しています。また、昨年は度重なる大規模な自然災害が発生し、防衛省・自衛隊に対する国民の期待は一層高まっていると認識します。

南関東防衛局は、国民の安心・安全を確保するべく365日昼夜を問わず任務に従事する自衛隊や日米安全保障条約のもと駐留する米軍の活動を支援するべく、昨年も、神奈川県、静岡県、山梨県の基地・駐屯地や演習場等の防衛関係施設の所在する地域の皆様に対し、防衛施設の所在による諸問題、つまり、航空機騒音、演習場での山林・治水への影響、港湾施設での運用問題などに取り組んで参りました。

その際、昨年5月米軍再編に伴うキャンプ座間の一部返還を実現し座間市の病院開設に貢献するなど、地域の活性化に資するよう消防などの公共施設の整備等にも努めてまいりました。

一方、地方自治体への防衛白書の説明、防衛問題セミナーの開催など防衛政策への理解促進も進めております。本年末には厚木飛行場の空母艦載機の移駐が予定されています。新年においても地域の皆様との信頼関係を大切にし、防衛施設に係る諸問題に取組み、地域特性に応じた活力ある地域づくりにも貢献できるよう努力していきます。

当局は、自衛隊の装備品等の開発・調達・維持、自衛隊や米軍の運用施設等の建設を任務としています。装備品取得や施設建設は、優れた先端の科学技術を用い、大手・中小企業のリソースを結集して実現します。職員一人一人が防衛力整備の一翼を担う責任を自覚し、その知識と経験を活かして取り組んでいます。また、当局管内の米軍施設では約9000人の日本人従業員が勤務しており、引き続き関係機関と連携し適切に労務管理を行っていきます。

本年も局職員450名各人に与えられた任務・役割を認識し、我が国の平和と安全と繁栄のため、その職責を全うすべく努力して参る所存です。地域の皆様や関係する方々とともに、防衛を巡る諸課題に全力で取り組んでいく所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

FMブルー湘南「遊びに来ませんかスタジオへ（防衛トーク）」では、毎月第3木曜日午後3時から南関東防衛職員等が出演し、パーソナリティの灯織（ひおり）さんとともに日本の防衛政策などについて紹介しています。

11月17日は、「横須賀」の思い出などを横須賀に関わりのある南関東防衛局職員が横須賀市出身の灯織さんとともに語り、思い出話しに花が咲きました。

当時の横須賀市を懐かしく思い出したリスナーもいらっしまったのではないのでしょうか。

（横須賀市の思い出）

- まずは横須賀中央駅周辺の様子や好きだったメニューや通ったお店の話で盛り上がりました。
- 久々の横須賀勤務の際、以前、横須賀基地正門前のハニービー（という飲食店）に「ルンピア」という挽肉がブラックペッパーで味付けされたピリ辛でサクサクした細長い春巻きがあったことを突然思い出し、お店のメニューを見たところ残念ながらもなくなっていたという話が出ました。
- また、高校時代に部活動の帰り、あまりの空腹に耐えかね、仲間と一緒に駅前付近にあったシェーキーズというピザ屋さんに行き、何十枚というピザを食べたので、家に帰って夕食が食べられず母親に怒られたことを、今では酒屋さんになったその場所の前を通ると思い出されるという話がありました。

（おすすめの横須賀市観光スポット）

- 次に、おすすめの横須賀観光スポットを紹介しました。
- まずは、横須賀中央駅から途中コロケパンを買いつつ、旧日本軍の要塞だった猿島や三笠公園の戦艦三笠で旧海軍の街を感じて、その後、どぶ板通りでネイビーバーガーを食べつつ、横須賀地方総監部や米海軍横須賀基地に停泊中の艦艇をヴェルニー公園から観察などしてネイビーの街ヨコスカに触るといって「横須賀満喫ツアー」（同じ名称のツアーがありますが関係はありません。）を提案しました。
- また、砲台跡、兵舎、弾薬庫跡などの歴史的建造物が大切に保存されている猿島でのバーベキューを紹介しました。

（横須賀市における横須賀防衛事務所について）

- 南関東防衛局は5つの事務所を持っており、横須賀防衛事務所はそのうちの1つです。
- 米軍人との交通事故などで被害を受けた方に対する損害賠償の業務、米軍施設や自衛隊施設の管理業務、横須賀基地等で働く5,800名ほどの基地従業員の労務管理業務等を担っています。
- 横須賀防衛事務所で勤務経験のある出演者から当時の損害賠償の業務に係る苦労話や住民の方とのエピソードの話がありました。
- 今後も、南関東防衛局は今後も横須賀市と米軍の調整役として横須賀市のために活動していきたいと思っております。



写真左から、横須賀総務課長、嘉山防音対策課長、佐藤横須賀防衛事務所次長、パーソナリティの灯織さん



写真：横須賀市どぶ板通りの様子

沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施―北富士

沖縄県に所在する米軍施設キャンプ・ハンセンにおいて実施されていた155ミリ榴弾砲による沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練は、米軍施設・区域が集中する沖縄県の負担軽減を図り、また日米安保体制の信頼性の向上を図りつつ、米軍の練度維持及び即応態勢を保持するため、平成9年度から本土の5演習場にて分散・実施されています。

南関東防衛局管内では北富士演習場と東富士演習場でこの訓練が行われており、当局は訓練の円滑な実施のためのサポートを行っています。



沖縄県、キャンプ・ハンセンで実施されていた米軍による沖縄県道104号線越え155ミリ榴弾砲による実弾射撃訓練は、県道104号線をまたぐ形で射撃が行われるため、県道を封鎖して実施されていました。

平成8年8月、日米合同委員会において、沖縄県の負担の軽減を図るなどの観点から、この訓練を本土の5演習場で分散・実施することが合意され、翌年度の平成9年度から、本土5ヶ所の自衛隊演習場（矢臼別、王城寺原、東富士、北富士及び日出生台）で訓練が実施されています。



本年11月に、山梨県に所在する北富士演習場で本訓練が実施されました（準備期間等を含む）。参加人員は約390名、車両約100両、砲12門による大隊規模による訓練が、11月22日から30日の間榴弾砲等による実弾射撃訓練が行われました。

今回14回目となる北富士演習場における訓練においても、米海兵隊に対する訓練実施のための支援はもとより、地元自治体への説明・情報提供、陸上自衛隊や警察等関係機関との調整、演習場周辺の警備など、訓練の円滑な実施のための総合的な支援を実施しました。

南関東防衛局は、管内に所在する北富士演習場及び東富士演習場における訓練時には現地対策本部を設置し、訓練の円滑な実施のため24時間体制で支援を行っています。



写真：現地対策本部開設(右)及び閉所(左)の状況

沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散実施のため北富士演習場において訓練を実施していた在沖海兵隊第12連隊第3大隊は、11月30日（水）に射撃訓練を終了し、北富士演習場内から東富士演習場に隣接するキャンプ富士まで人員、車両を移動させました。その後、訓練部隊は12月9日（金）の撤収までの間、日本の歴史文化を学ぶための現地研修等も実施されました。



写真：北口本宮富士浅間神社(上)及びふじさんミュージアム(下)における現地研修



静岡県御殿場市の夜間巡回パトロールの様子



巡回車両に乗り込む局職員



繁華街を巡回する堀地南関東防衛局長(中央)

11月13日から、12月9日まで静岡県御殿場市内の繁華街ほかにおいて、南関東防衛局職員が夜間巡回パトロールを実施しました。11月16日には南関東防衛局堀地局長、12月5日には越智次長も参加しました。

この夜間巡回パトロールは、北富士演習場での沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の移転訓練期間中、米軍キャンプ富士所在の御殿場市内で初めて実施したものであり、米軍関係者によるトラブルが発生した際の地元等への迅速な情報提供に寄与することを目的として実施したものです。このパトロールでは、トラブルの発生もなく終了しました。



巡回前に交番に挨拶をする局職員



夜間巡回パトロールの様子：中央・堀地南関東防衛局長

若手職員の参加を得て！！



堀地南関東防衛局長と打ち合わせを行う若手職員達

南関東防衛局では、若手職員に局広報活動の一端を担ってもらおうべく、局の各部各課の業務の説明会、米軍や自衛隊とのかわりがある業務の体験研修等を実施しています。

若手職員は、こういった研修や体験を踏まえて南関東防衛局の業務の特色や防衛施設周辺の所在する関係自治体及び周辺住民の方々の要望や意見を理解し、若い新鮮な視点で、今後、防衛政策や局の業務・イベントについて発信していく予定です。

今回は、そんな若手職員の研修の状況を説明します。



業務説明を行う橋本施設補償第2課長

11月30日、12月1日、南関東防衛局の若手職員に各部各課の課長が業務の内容を説明しました。限られた時間内で各課長は、自分の受け持つ業務を入省して3年程度の若手職員が理解しやすいようにテキスト資料や話し方に苦労して説明しました。

それに先立って、11月9日静岡県に所在する米海兵隊キャンプ富士で行われた海兵隊記念行事「ケーキカットセレモニー」に堀地南関東防衛局長と若手職員が招待されて参加し、初めて見る海兵隊の行事を実体験しました。

また、次頁にある12月13日～15日の護衛艦「かが」の儀装後の航海試験体験研修では、若手職員4名が田村防衛補佐官と共に参加しました。



業務説明を受ける約50名の局若手職員達

第241回海兵隊創立記念日「キャンプ富士ケーキカットセレモニー」



ケーキをカットするエスカミヤ司令官

平成28年11月9日、東富士演習場に隣接する在日米海兵隊キャンプ富士では、第241回海兵隊創立記念日を祝し、ケーキカットセレモニーが行われました。



司令官の挨拶を受ける堀地局長と局若手職員達

同セレモニーには地元関係者や陸上自衛隊各駐屯地司令等が招待され、当局からも堀地局長を始め、伊藤管理部長や若手職員等が参加しました。

護衛艦「かが」航海試験

平成28年12月13日(火)、ジャパン マリンユナイテッド株式会社横浜事業所鶴見工場から護衛艦「かが」(平成24年度契約、全長248メートル、基準排水量19,500トン)が航海試験に出航しました。



写真：護衛艦「かが」

同航海では、護衛艦「かが」がジャパン マリンユナイテッド株式会社で儀装工事を了した後、各種性能の試験を南関東防衛局調達部装備課の検査を受けることとなりますが、今回は局の検査官とあわせて田村防衛補佐官と局の若手職員4名が参加しました。



護衛艦「かが」は平成29年3月に就役し、海上自衛隊に配備される予定です。

12月13日から、16日まで、日本近海相模湾で行われた護衛艦「かが」の航海試験に同乗させていただき、護衛艦の儀装から就役までの一連の流れの一部を体験しました。

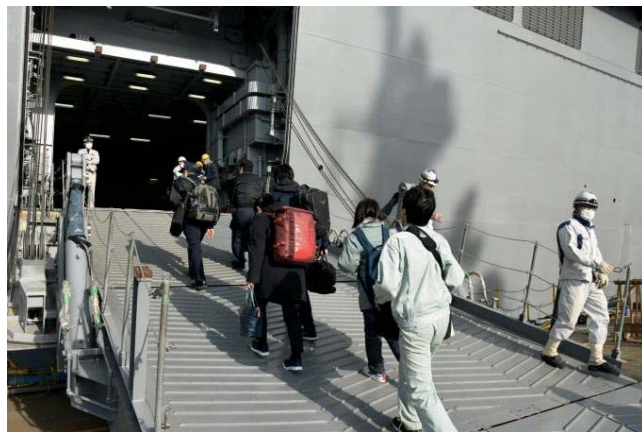
今回は航海試験ということで、JMUや海上自衛隊の艦装員の方以外にも様々な防衛産業の方や検査官が乗り合わせており、通常任務を行っている護衛艦とは違った雰囲気を感じました。企業の方々がアメリカともやりとりをしつつ、何度も何度も装備品の調整を続け、最終的にミサイルが無事発射された時の皆さんのほっとしたような、うれしそうな顔は忘れられない思い出となりました。

また、艦内は「1つの街」と言っても過言では無いくらい様々な設備が整っており、海上に居ることを忘れてしまうかのようでした。おかげで初めての海上生活でも陸上と何ら変わらない生活が送れました。

今回の航海での経験は、防衛省で働いていく上での大きな糧になりました。



写真：南関東防衛局中澤係員（左）、日比野係員（右）



写真上下：「かが」に乗り込む南関東防衛局職員

*** 航海試験研修の参加者の体験記事は、南関東防衛局ホームページでも掲載しています。**

F Mブルー湘南「遊びに来ませんかスタジオへ」平成29年3月16日放送分告知



写真:パーソナリティの灯織さん

南関東防衛局では毎月第三木曜日午後三時から防衛省、自衛隊関係者が出演し、パーソナリティの灯織（ひおり）さんとともに日本の防衛政策等を紹介しています。平成29年3月16日の放送では、出演者を南関東局管轄の横須賀地区にちなみ、当局の女性職員と横須賀地区の米軍、海上自衛隊の女性職員に横須賀地区の話題、基地との思い出等についてパーソナリティの灯織さんを交えて語っていただきます。

F Mブルー湘南78.5は、横須賀市等を中心としたミニFM放送ですが、スマホやPCによるインターネット放送を利用することにより全国でも聞けますので、ご視聴ください。

南関東防衛局からの お知らせとお願い

お問い合わせ先:南関東防衛局企画部地方調整課 (直通)045-211-7134

【南関東防衛局HP】



お知らせとお願い

レーザー光線の照射により航空機の安全な運航を妨害することは犯罪です。

(最も重い刑で懲役3年(注))

神奈川県内や東京都内で飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案が多発しています。

航空機へのレーザー光線の照射は、パイロットの目の負傷、失明、操縦への障害に繋がり、墜落等による大惨事を地域の皆様にもたらしかねない大変危険で悪質な行為です。

航空機に向けてレーザー光線を照射している人を見かけた方は110番通報をお願いいたします。

(注)刑法の威力業務妨害罪に該当する場合(3年以下の懲役又は50万円以下の罰金)。
なお、航空危険行為処罰法の航空危険罪に該当する場合は、3年以上の有期懲役。

外務省、防衛省、警察庁、国土交通省

■本チラシの内容についてのお問い合わせにつきましては上記のお問合せ先に御連絡願います。



■レーザー光線による操縦士への影響(イメージ)

南関東防衛局広報紙「南関防衛」平成29年冬号(第14号)平成29年1月4日発行

年4回発行 編集/発行 南関東防衛局 〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎内
(お問い合わせ)045-211-7129